2025年 秋季年会

年会プログラム

於　海峡メッセ下関

2025 年 9 月 9 日（火）～ 9 月 11 日（木）

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 2025年 秋季年会プログラム

期　日　　2025 年 9 月 9 日（火）～ 9 月 11 日（木）
場　所　　海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ／オンライン
電　話　　090 - 4387 - 6893 (学会事務局)　＜使用期間 2025 年 9 月 8 日（月）～ 9 月 11 日（木）＞
E-Mail　　nenkai-committee@asj.or.jp (年会実行委員会)

月 日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
9月5日（金）											理事会	
9月8日（月）							記者会見					
9月9日（火）	A		受付	Z2. 広視野赤外		昼休み 12:40 – 14:00	Z2. 広視野赤外		ポスター 16:10 | 17:00	受賞記念講演 17:00 | 18:00	天文教育フォーラム 18:00 | 19:30	
	B			P3. 惑星系			P3.惑星系 /Q.星間現象					
	C			P1. 星形成			P1. 星形成					
	D			V1. 観測機器 (電波)			V1. 観測機器 (電波)					
	E			N. 恒星・恒星進化			N. 恒星・恒星進化					
	F			Y. 教育・広報・他			Y. 教育・広報・他					
	G			T. 銀河団			U. 宇宙論					
	H			X. 銀河形成・進化			X. 銀河形成・進化					
	I			W. コンパクト天体			W. コンパクト天体					
	J			V3. 観測機器(X線・γ線)			V3. 観測機器(X線・γ線)					
	K			V2. 観測機器(光赤・重)			V2. 観測機器(光赤・重)					
9月10日（水）	A	受付	R. 銀河		昼休み 11:40 – 13:00 (代議員総会)		S. 活動銀河核		ポスター 15:10 | 16:10		会員全体集会 16:30 | 17:30		懇親会 19:00 | 21:00
	B		Q. 星間現象				Q. 星間現象					
	C		P1. 星形成				P1. 星形成					
	D		V1. 観測機器 (電波)				P2. 原始惑星系円盤					
	E		N. 恒星・恒星進化				N. 恒星・恒星進化					
	F		M. 太陽				M. 太陽					
	G		U. 宇宙論				U. 宇宙論					
	H		X. 銀河形成・進化				X. 銀河形成・進化					
	I		W. コンパクト天体				W. コンパクト天体					
	J		V3. 観測機器(X線・γ線)				V3. 観測機器(X線・γ線)					
	K		V2. 観測機器(光赤・重)				V2. 観測機器(光赤・重)					
9月11日（木）	A	受付	S. 活動銀河核		昼休み 11:40 – 13:00		S. 活動銀河核		特別セッション 15:30 | 16:30			
	B		Q. 星間現象				Q. 星間現象					
	C		P1. 星形成									
	D		P2. 原始惑星系円盤				P2. 原始惑星系円盤					
	E		N. 恒星・恒星進化				N. 恒星・恒星進化					
	F		M. 太陽				M. 太陽					
	G		Z1. 微分可能天文学				Z1. 微分可能天文学					
	H		X. 銀河形成・進化				X. 銀河形成・進化					
	I		W. コンパクト天体				W. コンパクト天体					
	J		V3. 観測機器(X線・γ線)									
	K		V2. 観測機器(光赤・重)				V2. 観測機器(光赤・重)					
9月13日（土）							公開講演会					
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

・現地の受付とセッションの開催時間は下記の通りです。
　1日目　　【受付】09:30 開始　【セッション】午前の部　10:30 – 12:40　　午後の部　14:00 – 16:10
　2～ 3日目　【受付】09:00 開始　【セッション】午前の部　09:30 – 11:40　　午後の部　13:00 – 15:10
・定員が超過した場合はオンラインでご参加ください。

A 会 場：1 F -　展示見本市会場
B 会 場：1 F -　展示見本市会場
C 会 場：1 F -　展示見本市会場
D 会 場：1 F -　展示見本市会場
E 会 場：8 F -　大会議室 ８０１
F 会 場：8 F -　会議室 ８０４
G 会 場：8 F -　会議室 ８０５
H 会 場：9 F -　海峡ホール
I 会 場：10 F - 国際会議場
J 会 場：２F - 学習室 201&202（生涯学習プラザ）
K 会 場：２F - 多目的ホール（生涯学習プラザ）

受　　付：1 F -　展示見本市会場 エントランス
展示コーナー：1 F -　展示見本市会場
ポ ス タ ー　：1 F -　展示見本市会場 / オンライン公開

◎講演数

講　　演　　数 ：合計　760

（口頭講演（a）：598、 ポスター講演（b）：133、 ポスター講演（c）：29）

◎参加申込について（参加希望者は、必ず事前に参加申込をしてください）

2016 年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。

○参加費用

	会　員	非 会 員
参　加　費	正会員学生：2,000 円 (不課税) 正会員一般：5,000 円 (不課税) 準　会　員：5,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
講演登録費	2,000 円 (不課税) (1 講演につき)	5,000 円 (消費税込み・企画セッション)
	但し事前支払がない場合、会員 3,000 円 / 非会員 6,000 円	
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み) ※購入希望者のみ	

○参加申込受付場所：学会ホームページ (https://www.asj.or.jp/)

○参加申込受付期間： 2025 年 8 月 5 日(火)正午 ～ 9 月 11 日(木)正午

※講演者の方も講演登録費支払期間に参加申込・参加費支払が必要です

※原則として講演登録費・参加費の返金はいたしません

◎講演に関する注意

1．口頭発表は現地 11 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2．ポスター（添字 b、c）はオンライン上で公開します。ポスターは現地での掲示も行います。オンライン公開用にポスターファイルの提出をお願いいたします。提出の締切は 9 月 5 日 (金) 正午です。分野毎に Slack チャンネルをご用意しますので、質疑応答にご活用ください。

3．口頭講演者 (添字 a、b) は原則として現地会場で発表していただきますが、講演登録費支払の際に申請のあった方々についてはオンラインで発表していただきます。
セッション 開始 5 分前から座長が講演方法の説明をいたします。講演者はご参加ください。
また、口頭講演は原則としてご自身の PC を用いて講演いただきます。万一のトラブルに備えて、PDF 形式の講演ファイルもご用意ください。講演方法に関する最新の情報は、ホームページで必ずご確認ください。

4．オンライン聴講者は、セッション開始時刻の 5 分前から Zoom にアクセスいただけます。
また入室の際には、下記の命名規則に従って「参加者名」を設定してください。

参加種別	「参加者名」の命名規則	例
視聴者	「氏名」＋「(所属)」	天文花子 (天文大学)

5．講演の実施方法の詳細は、学会ホーム ページに掲載いたします。事前に講演方法についてよく確認いただいた上で準備を進めていただくようお願いいたします。オンラインで参加される方は、Zoom の操作手順に関する理解を深めていただくようお願いいたします。

6．受信画像や発表資料の保存（キャプチャを含む)、録音や配布は固くお断りします。

◎会期中の行事

月　日	時　間	会　場	行　事　名
9月8日(月)	13:00 ～ 14:00	オンライン	記者会見
9月9日(火)	17:00 ～ 18:00	I 会場 / オンライン	受賞記念講演（欧文研究報告論文賞）
9月9日(火)	18:00 ～ 19:30	I 会場 / オンライン	天文教育フォーラム
9月10日(水)	16:30 ～ 17:30	I 会場 / オンライン	会員全体集会
9月10日(水)	19:00 ～ 21:00	下関グランドホテル	懇親会
9月11日(木)	15:30 ～ 16:30	I 会場 / オンライン	特別セッション みんなで天文学の未来を語ろう！（第 3 回）
9月13日(土)	13:30 ～ 16:00	下関市生涯学習プラザ	公開講演会

◎会合一覧表

月　日	時　間	会　場	会　合　名	参加可否※
9月5日(金)	17:00 ～ 19:00	オンライン	理事会	D
9月9日(火)	12:50 ～ 13:50	E 会場	女性天文研究者の会	A
9月9日(火)	12:50 ～ 13:50	F 会場	「天文学と社会」連絡会 報告会	A
9月9日(火)	12:50 ～ 13:50	H 会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
9月10日(水)	11:50 ～ 12:50	F 会場	太陽研究者連絡会報告会	B
9月10日(水)	11:50 ～ 12:50	現地：関係者に個別連絡 / オンライン	代議員総会	D
9月10日(水)	11:50 ～ 12:50	K 会場	光学赤外線天文連絡会 総会	B
9月11日(木)	11:50 ～ 12:50	K 会場	高宇連インフォーマルミーティング	C

※年会参加者の参加可否の説明（オープン化の程度）
A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい
B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている
C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない
D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

◎天文教育フォーラム：「天文コミュニティは学習指導要領とどう向き合うか」

日　　時：2025 年 9 月 9 日（火）18：00 ～ 19：30
場　　所：I 会場 / オンライン (オンライン参加は学会 HPから事前申込が必要。天文教育フォーラムのみ参加の場合、参加費は無料)
概　　要：　学習指導要領とは、学校教育法等に基づき、小中高校でのカリキュラムを編成する際の基準となっているものである。全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、小中高校それぞれに対し、教科等の目標や大まかな教育内容が定められている。当然のことながら、天文分野の学習内容についても規定されている。この学習指導要領の内容は、ほぼ 10 年毎に改訂されており、次の改訂に向けた検討と議論が進められている。小中高校での天文教育を考えるとき、何を重視し何を習得してもらうことが望ましいだろうか。学習指導要領の内容およびその根底にある教育観は、次世代の研究者育成の基盤となるとともに、広く天文コミュニティを支える社会の構成員を育成するという観点においても重要である。改訂の議論がなされている今の時期に、天文コミュニティにおいて情報を共有し、多角的な視点から議論することが重要ではないだろうか。本フォーラムでは、日本の教育の指針となっている学習指導要領の内容を俯瞰した上で、課題が何であるのかを議論し、これからの展望を共有したい。

話題提供：1. 現行の小中高校での天文分野の学習内容　伊藤信成（三重大学）
　　2. 学習指導要領について　後藤顕一（東洋大学）
　　3. 中学校教科書作成について　岡村定矩（東京大学）

　　パネルディスカッション：話題提供者に加え、大朝由美子（埼玉大学) らが登壇予定

世 話 人：伊藤信成、高梨直紘、高橋隼、玉澤春史、日下部展彦、大朝由美子
主　　催：公益社団法人 日本天文学会 / 一般社団法人 日本天文教育普及研究会

◎特別セッション：「みんなで天文学の未来を語ろう！（第 3 回）」

日　　時：2025 年 9 月 11 日（木）15：30 ～ 16：30
場　　所：I 会場 / オンライン
概　　要：　2024 年に設置された「日本天文学白書委員会」はコミュニティ全体で日本の天文学の将来や関連する事項（技術・教育・広報普及・歴史など）について語り合い、「日本天文学白書」としてまとめるとともにコミュニティの交流を促進するための委員会です。これまで年会において 2 回のイベントを行い、未来のサイエンスや天文学と社会とのつながりについて議論してきました。本年会では第 3 回のイベントを開催し、引き続き様々な分野・世代の方々に未来の展望や夢を語ってもらうとともに、パネルディスカッションで意見交換や交流を深めることを目指します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

プログラム：1. 趣旨説明
　　2. 基調講演
　　3. パネルディスカッション

世 話 人：日本天文学白書委員会

◎日本天文学会公開講演会

日　　時：2025 年 9 月 13 日（土）13：30 ～ 16：00（開場 13:00）
形　　式：対 面
場　　所：下関市生涯学習プラザ（大ホール）
　　住所：〒 750-0016　下関市細江町 3-1-1
対　　象：中学生以上・一般向け
テ ー マ：「未知の宇宙を探査する ～惑星探査とブラックホール～」
講師・タイトル：下記をご参照ください。
参 加 費：無料
定　　員：800 名（申込不要）

＜講演内容の紹介＞

講演 1：「小惑星探査機「はやぶさ 2」が明かした太陽系の初期進化」

講師：杉田精司 (東京大学 大学院理学系研究科　地球惑星科学専攻・教授)

「はやぶさ 2」は 2018 年 6 月に小惑星リュウグウに到着し、C 型小惑星の全球詳細観測、2 度のサンプル採取、人工天体衝突など数々の世界初の科学任務を終え、翌年 11 月に小惑星を離脱しました。2020 年 12 月には地球にサンプルカプセルの大気再突入に成功し、世界初の C 型小惑星の試料を人類に届けました。本講演では、「はやぶさ 2」の観測や試料分析が明らかにした太陽系の初期進化の最新成果を分かり易く解説するとともに、「はやぶさ 2」を追いかける米国の小惑星探査機 OSIRIS-REx との競争についてもご紹介します。

講演 2：「電波望遠鏡で見る 未知の天体ブラックホール」

講師：本間希樹（国立天文台水沢 VLBI 観測所・教授）

2019 年、国際プロジェクトのイベント・ホライズン・テレスコープは、楕円銀河 M87 の中心にあるブラックホールの写真を公開しました。写真にはドーナツのような構造が写っており、その中心に「ブラックホールの影」がとらえられていました。また 2022 年には､天の川銀河の中心にあるブラックホールの写真も公表され、M87 と同様の姿が写し出されました。本講演では、同プロジェクトのメンバーである講師が、電波望遠鏡によって得られたブラックホールの写真についてわかりやすく解説し、今後の展望についても紹介します。

主　　催：公益社団法人 日本天文学会
後　　援：山口大学・周南公立大学
※最新のプログラムにつきましては学会ホームページ (https://www.asj.or.jp/) をご覧ください。

交通のご案内

■ 主な交通手段と所要時間

年会会場（海峡メッセ下関、下関市生涯学習プラザ） までのアクセス

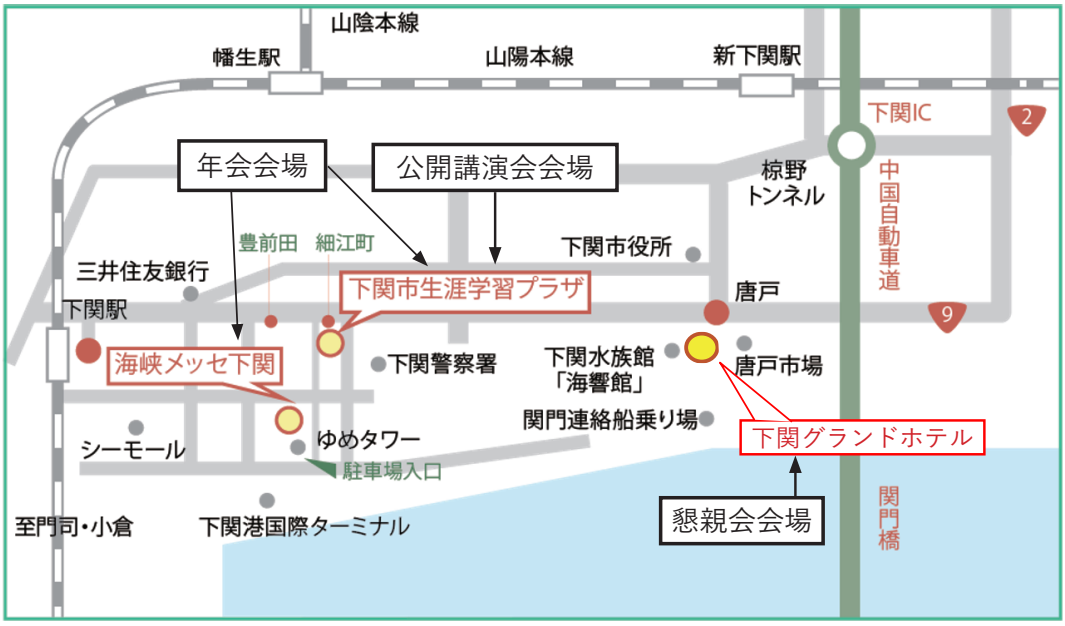
JR 下関駅より徒歩 約 10 分

【鉄道の場合】
JR 小倉駅・門司駅より下関駅まで鉄道利用で約 15 分（電車は 1 時間に 2 ～ 4 本程度運行）
JR 下関駅は、新幹線の停車駅（新下関駅）とは異なりますのでご注意ください

【飛行機の場合】
山口宇部空港より下関駅まで直通バスもしくは鉄道で約 70 ～ 110 分
（詳細は https://www.yamaguchiube-airport.jp/mapaccess/ をご覧ください）
北九州空港より下関駅までバスもしくは鉄道で約 45 分
（詳細は https://www.kitakyu-air.jp/rev-access/rev-around.php をご覧ください）
福岡空港より下関駅まで鉄道（新幹線利用）で約 1 時間
（詳細は https://www.fukuoka-airport.jp/access/ をご覧ください）

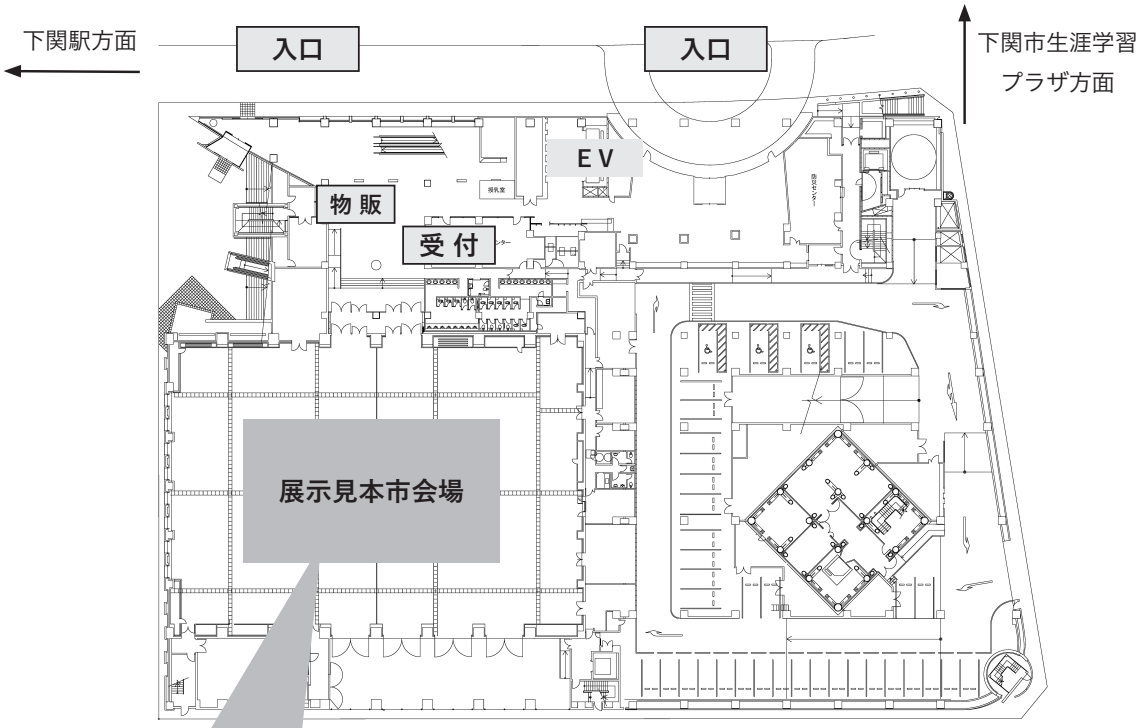
その他、交通情報、会場へのアクセス、宿泊、会場周辺に関する詳細は
秋季年会開催地ホームページ（https://sites.google.com/view/nenkai2025kg）をご覧ください。

■ 会場周辺地図

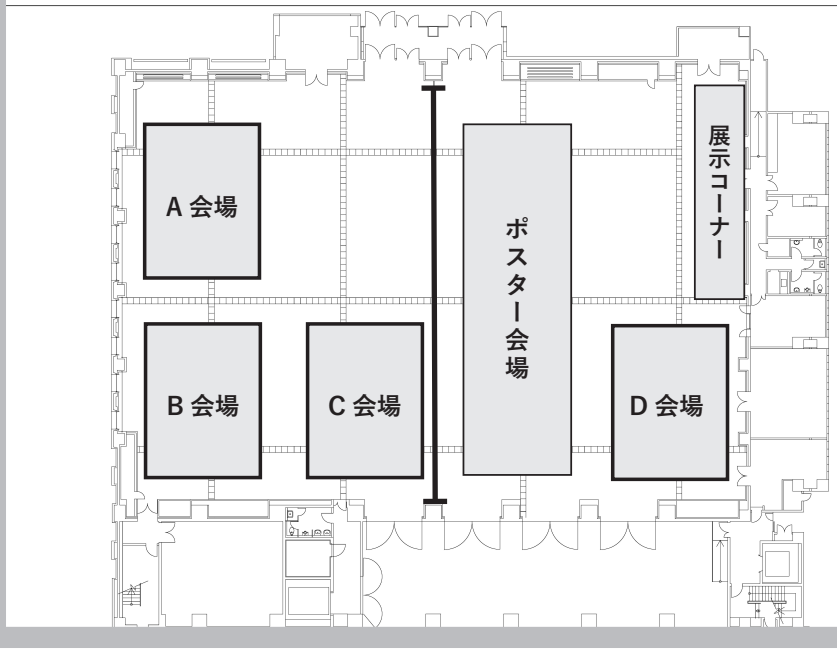


セッション会場のご案内　（海峡メッセ下関）

1 階

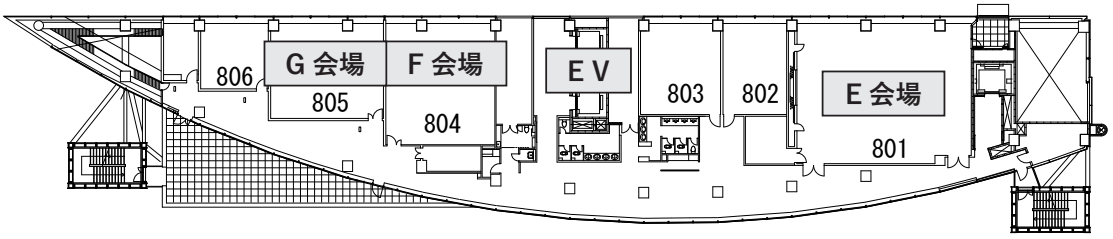


展示見本市会場

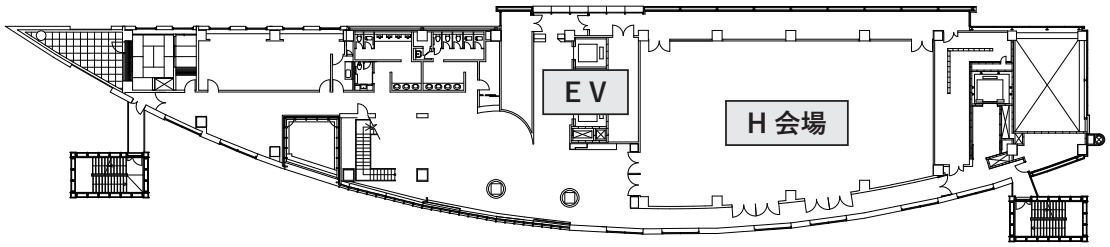


セッション会場のご案内 （海峡メッセ下関）

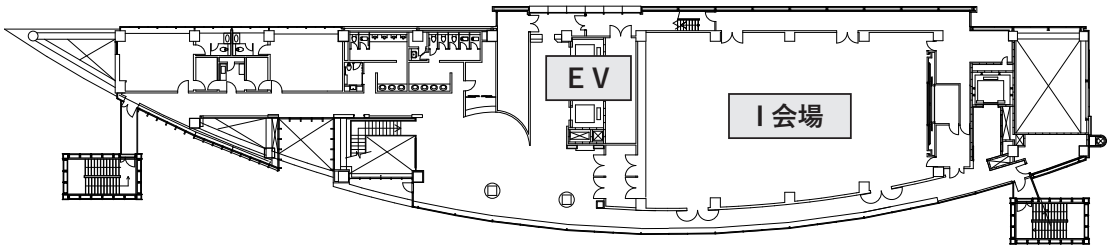
8 階



9 階



10 階



◎ 来場初日に海峡メッセ下関 1 階受付にて QR コード受付後、必ず参加証を受け取ってください。

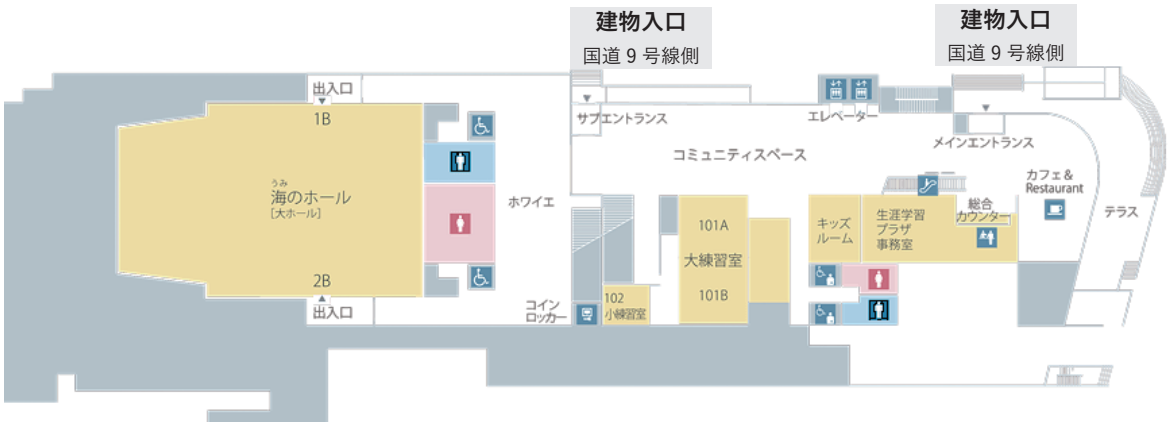
◎ 海峡メッセ下関での講演会場は 1 階および 8 階から 1 0 階となっています。エレベーターの数が限られていますので、会場への移動の際は十分な時間的余裕を見て移動してください（9 階と 10 階の間は内階段で移動可能です）。

◎ ポスター会場は 1 階です。年会最終日 12 時 30 分まで掲示可能です。

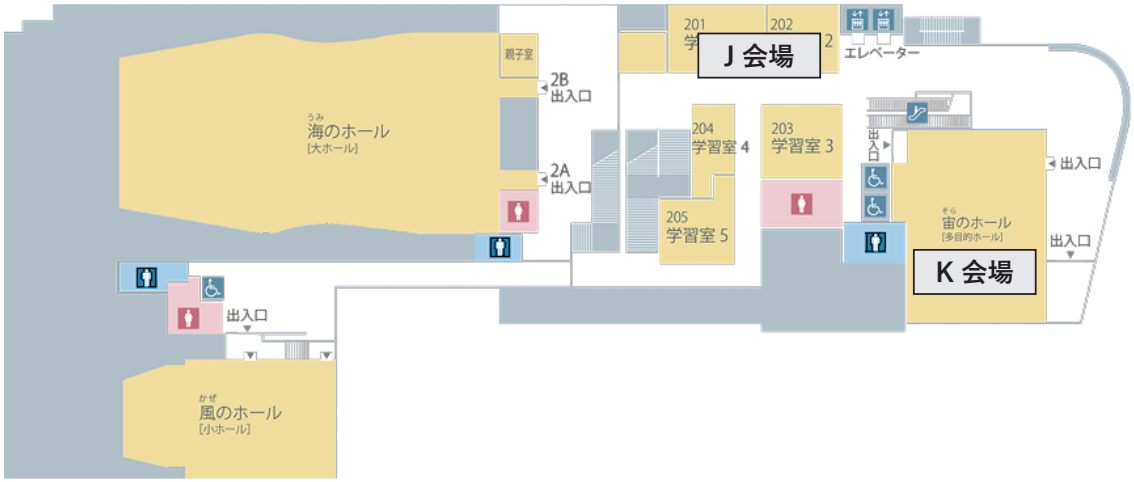
◎ 海峡メッセ下関では 1 階ロビーを除いて会場内での飲食が可能です。

セッション会場のご案内　（下関市生涯学習プラザ）

1 階



2 階



◎ 下関市生涯学習プラザは第２会場です。主会場の海峡メッセ下関から徒歩２～３分です。必ず主会場の受付で、参加証を受け取ってからご入場ください。

◎ 下関市生涯学習プラザ内ホールでは飲食禁止です。飲食可能エリアは、コミュニティースペース (1 階)、シーデッキ (3 階）です。
※Ｊ会場内で昼食をとることは可能ですが、ゴミは必ずお持ち帰りください

◎ 主会場 (海峡メッセ下関）内のエレベーターは台数が限られております。第２会場との移動の際は、時間に余裕をもってご移動くださいますようお願いいたします。